

平成12年度SGST第4回定期研究会 議事録

日時：平成12年10月17日(火)16:00～18:00

場所：名古屋大学工学部3号館北館3F 土木会議室

出席者：安藤、宇佐美、岡本、小澤(日構技術)、小塩、貝沼、勝俣、加藤、櫛田、久保、小澤(建設技術)、近藤、桜井(東京鉄骨)、杉浦、館石、玉腰、虎石、土井、服部、山田(名大)、山田(トピー)、吉川 以上22名

1. 講演

1)「米国における橋梁調査」(名古屋大学 貝沼氏)

米国における橋梁保全の状況を豊富な調査写真をもとに紹介された。米国においては、架け替えの不可能な橋梁とそれ以外の橋梁に区分し、保全に関する重み付けに差をつけている。架け替え不可能なニューヨーク等の吊橋は補強・補修を行い、代替路線の設置が可能な橋梁は使えるまで使い、破棄する方針である。紹介された写真のなかで、ゴム支承の経年劣化は興味深いものであった。

2)「長長大吊橋への挑戦」(東京鉄骨橋梁 桜井氏)

ケーブルを上下に配置する事や、炭素繊維の利用等による、超長大吊橋の建設へむけての技術が紹介された。

2. 次回の研究会

日時：平成12年12月19日(火)

場所：名古屋大学

平成12年度会費納入のお願い

以下の銀行口座に振込みをお願い致します。(定期研究会にて、現金でも可。)

東海銀行 覚王山支店(本山出張所) 店番号 274 普通口座 1116034

東海構造研究グループ 代表：山田健太郎

会費 正社員：2,000円 賛助会員：1,000円

特別会員：30,000円 研究委員会分担経費：70,000円

会費の納入に際し、請求書が必要な場合にはSGST事務局まで、至急御連絡下さい。

事務局の省力化に伴い、議事録、案内等の発送をE-mail化しております。E-mailを御使用の方は、E-mailアドレスを事務局(小塩：ojio@civil.nagoya-u.ac.jp)までお知らせ下さいませよう願ひ致します。

平成12年度SGST第2回幹事会 議事録

日時：平成12年10月17日(火)14:30～16:00

場所：名古屋大学工学部3号館北館3F 土木会議室

出席者：安藤(瀧上工業) 岡本(パシフィックコンサルツ) 小塩(名古屋大学) 葛西(名古屋大学)
近藤(名城大学) 杉浦(日本構研情報) 山田(トピー工業) 山田(名古屋大学)

1. 議題

1) 次年度の代表、事務局の運営方法について

次年度は現代表が任期となるため、代表を交代することが望ましい。次期代表の選出についてはSGST会員より選出に関し意見を集めることとする。

事務局は次年度については名古屋大学が引き継ぐ。しかし議論として以下のような内容があり、今後検討していくことが必要である。

- ・ 事務局は会場を準備しやすいという利便性より名古屋大学か名古屋工業大学が望ましい。
- ・ 事務局が両大学にかたよると、事務局担当者が固定され、個人的な負担がかたよる。
- ・ 代表と事務局が同じ大学である必要はない。
- ・ 事務局が私立大学となると、私立大学には助手がいないため、手の問題がある。
- ・ 公の会の主催は国立大学とすることが望ましいと認識をもつ企業が存在する。

2) SGSTホームページ運営方法について

SGSTのホームページを作成したことの報告がされた。しかし、まだ1Pのみであり今後充実を図る事とする。充実する内容・方法は以下のとおりである。

- ・ 内容として幹事会・委員会・ワーキングの活動状況の紹介を行う。
- ・ 過去の講演者リストを載せる。
- ・ TOPページを学生によるコンペ形式で作成する。
- ・ 以上、当面名古屋大学の小塩氏・葛西氏にて進める。

3) 見学会開催について

SGSTとして見学会を行いたいという希望があった。SGSTの会員が担当する技術的に特徴のある現場をその会員の案内で見学したいとの希望があり、今後対象を選定する。

4) 会費について

特別会員の会費はほぼ支払われており、特に問題はない。一般会員の会費の支払い率が低く、今後PRしていく。

5) 研究会講師について

以下を予定している。

12月19日(火) 中井先生(福井工大)

3月1日(木) 保坂さん(鉄建公団)

その他、マイクロパイル工法、常温照射工法、松尾エンジニアリング等の推薦があった。

